



女性の社会進出が加速した今も、仕事と子育ての両立は難しい。産休や育休、時短制度など、柔軟な働き方を求め休職や転職を選ぶ人も多い。竹下あかりさんも悩んだ末に転職を決意。子育てを優先できる会社として(株)西部技術コンサルタントに入社。配属された河川・砂防グループは、上司にも仕事にも恵まれる好環境。入社2年目の竹下さんに、職場の選び方や、今後の目標など話を伺った。

●技術職を選んだきっかけ

小学生のころ、母が地図を広げ「この道路はお母さんが設計した」と誇らしげに語る姿を見て、私自身も同じような仕事がしたいと思ったのがきっかけです。その夢を叶えようと、土木も建築も学べる佐賀大学の都市工学科に入學しました。ただ、2年時にはどちらかひとつを選ばなければならず、最終的には土木を専攻。基簿書に沿って、その場所に合わせたオーダーメイドの構造物を作る方が、自分の性格に合っていると思いました。仕事を通じて大きな満足感が得られる今は、これこそ天職だと実感しています。

●現場の魅力や責務

現場の魅力はたくさんありますが、一番は地域に根付いたものを作れることです。護岸や砂防など、人々の暮らしを守るために、そこにあつて当たり前、役に立つものに関われるのは大きな喜びです。

この現場の必要性、完成したらどう変わるのか、責任の大きさに身が引き締まりますが、同時に、やりがいも生まれ仕事に取り組みことができます。

●仕事のこだわりやポリシー

普段から「メモ魔」と言われるくらいメモします。設計ソフトの使い方など、一度聞いたことは書いていますので、同じ質問をしないよう心掛けています。この設計をするには、「このページを見るとヒントがある」と、オリジナルの参考書を作成している感じです。書くことで内容も整理整頓されますし、先輩や上司が打合せの時に使った用語など頭に残りやすいと思います。

●印象的な仕事

令和元年の12月に仕上げた、筑豊南部の災害護岸設計が忘れられません。上司や先輩の力は借りましたが、最初から最後までひとりで終わらせました。全部を任せられた仕事は初めてでしたが、災害復興でしたので、少しでも早く仕上げ、住民のみならず安心を提供したいと思いました。

担い手シリーズ 09

# 子育てと仕事の両立 求める環境は 自分の手でつかむ

竹下 あかり 入社2年目(測量士補)  
株式会社 西部技術コンサルタント



●技術職を目指す人に伝えたいこと

会社は入ってみないとわかりません。それでも会社の雰囲気や人事の方の言葉に注目してほしい。女性は出産や子育て時期になると、状況は大きく変わります。女性技術者を雇うことに積極的な会社は、お迎え時間や急な休みなど配慮してくれますので、仕事がしやすいと思います。

また、自分の目標に近づける環境なのか、ということも大事です。この西部技術コンサルタントの部長は、いくつも技術士資格を取得していて、研修会などで教えています。仕事をしながら、そのスキルを学ばせてもらえキャリアアップも望めます。就活、転職する技術者の方には、取り巻く環境が変わっても、自分の未来像を描ける会社を選んでほしいと思います。

●今後の目標

技術士の資格取得と、コミュニケーション能力も高めたいと考えています。上司がその能力に長けていて、地域住民、行政の方々など、どんな説明会があろうとこの場をリードします。仰々しい雰囲気でもなく、かといって堅苦しくもない。住民の声を聞きつつも、こちらの意思もしっかり伝える。

土木は経験工学と呼ばれますが、この会話力もその中に含まれると再確認させてもらっています。子育て優先ではありませんが、今できる範囲で、たくさん覚えて仕事に役立てたいと思います。



竹下あかり (たけした あかり)  
福岡県出身。佐賀大学都市工学科卒業。(株)西部技術コンサルタント河川・砂防グループ所属

会社概要  
(株)西部技術コンサルタント  
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-18-12  
TEL. 092-437-5711 FAX. 092-437-5712  
<http://www.seibug.co.jp>